



令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

社会福祉法人ちとせ交友会
つきのさとこども園



1、本園の教育・保育目標

- ・生き生きとし、元気に遊べる子
- ・友達としっかり関わり、育ちあう子
- ・自分で考え、行動する子

2、本年度重点的に取り組む目標・計画

認定こども園法及び子ども・子育て支援法、児童福祉法、その他の関係法令などに基づき、乳幼児及び幼児への教育・保育の一体的な提供を通して、全園児が新しい環境のもと、落ち着いて生活と学びが実施され、心身の健やかな育成に最もふさわしい生活の場を提供する。園児が主体的に活動でき、自律を促す教育・保育環境を整える。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程の見直し改善を図る	A	幼児の姿や遊びの記録をもとに、教職員が定期的に話し合い、ねらいや内容の見直しを行った。
2	教育の質の向上のため、園外・園内研修を充実させる	A	遊びのカリキュラムや指導案に沿って実践し、振り返りと園内公開保育を行った。
3	家庭との連携を密に信頼関係の構築をする	A	送迎時の会話や面談、掲示物・園だよりなどで幼児の姿を伝えコミュニケーションを密にし、保護者と良好な信頼関係を築いた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4、総合的な評価結果

評価	理由
A	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人一人の幼児を大切にした質の高い教育を実践することができた。また、さらなる質の向上に向け、遊びの環境の見直し、適切な言葉かけ等、課題も明確になった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5、今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境	幼児が主体的な活動ができる環境になっているか。 自律的に考え行動できる環境になっているか。
2	質の向上	指導案に基づき実践・振り返りをし、次へつなげているか。
3	架け橋カリキュラム	小学校との連携を大切に継続した学びの共有ができているか。

6、学校関係者評価委員会の評価

新築で明るく、清掃も行き届いている。扉、やわらかい床、網戸のフェンスなど細かいところまで園児の安全に配慮した園舎である。保育教諭の語り掛けが優しく、人数も多く、連携がとれている。子どもたちが楽しそうに過ごしている様子で、安心できた。子どもの主体性大切に今後もお願いしたい。